

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

送迎車内の置き去り事故を防止する対策として、送迎車に降車時確認式の安全装置を取り付けている。降車後は児童の所在確認を行う点検表を基に確認を実施し、置き去り事故のリスク軽減、児童の安全確認を徹底している。訓練スペースで身体を動かす遊びを行う際は、白熱してくると児童同士が接触する恐れがある。そのような遊びを始める前には児童とルールを再確認したり、ロッカーの前に仕切りを配置して怪我や事故に繋がらないよう対応している。法令に基づいた職員体制は満たしているが、職員の突発的な欠勤や長期休みの期間は体制に余裕がないため、他教室と連携して職員の補填をしている。

○業務改善

支援前後のミーティングで業務の割り振りの確認や変更を行っている。長期休みは打ち合わせ時間の確保が難しいため、共有事項を漏れなく確認できる仕組みを確立していく必要がある。

○適切な支援の提供

個別支援計画は作成者だけでなく他職員も計画作成に参加し、複数の職員の意見を取り入れることで利用者に合わせた計画を立案できている。また、計画の支援内容に合わせた個別の学習プリントや微細運動のツールを用意し、幅広い支援の提供を心掛けている。定期的に教室内研修を実施し、虐待や性教育についての職員の知識、理解を深めることで実際の療育に繋げている。

○関係機関や保護者との連携

児童送迎時に情報共有を密に行い、利用者の様子について学校や保護者との連携に努めている。保護者からの要望に応じて、医療機関との情報共有を行っている。三郷市デイネット会議への参加や相談専門支援員と連携を図り、施設の情報を共有している。

○保護者への説明責任等

ニュースレターやブログに教室の様子を掲載することにより、療育プログラム等のサービス内容を紹介して理解を深めていただけるように努めている。保護者会が数年開催できていないため、来年度は療育体験会や報告会を開催し、情報を共有する必要がある。

○非常時等の対応

地震・火災(通報訓練、消火訓練を含む)・水害・衛生・不審者対応等の様々な事例を想定して、避難訓練を毎月実施している。虐待防止研修、身体拘束防止研修等の教室内研修を定期的実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

子どもの活動等のスペースが十分に確保されているかについて、「はい」との回答が9割となっており、「室内でも運動や遊べる工夫をしてくださっていて満足しています」とのご意見をいただいた。職員の配置数や専門性は適切であるかについて、「相談させてもらった時も、その場でだけではなく事業所で共有し支援をしてくれるので有難いです」とのご意見をいただいた。事業所の設備等のバリアフリー化が適切になされているかについて、「わからない」とのご意見が5割となっており、教室の様子について周知方法を検討していく必要がある。

○適切な支援の提供

ニーズに沿った放課後等デイサービス計画の作成や活動プログラムが固定化しないよう工夫されているかについて、「はい」の回答が9割となっており、満足度が高いことがうかがえた。「長期休みなどで、課外活動などを増やしてほしい」とのご意見をいただいた。地域や保護者間での交流について、インターネット環境の確認不足や感染症対策で未実施が数年続いているため、今後の実施に向けて検討していく必要がある。

○保護者への説明等

支援内容や利用者負担等の説明、面談や育児に関する助言等の支援が行われているかについて、「はい」の回答が10割を占めており、保護者様にご理解していただけていることがうかがえた。「本人や親の意見を聞き的確なアドバイスをくれます」とのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

緊急時のマニュアルの周知や非常災害の発生に備え訓練が行われているかについて、「はい」の回答が6割程度となっていた。非常時等の対応について周知方法を検討していく必要がある。

○満足度

事業所の支援に満足しているかについて、「はい」の回答が9割となっており、満足度が高いことがうかがえた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・感染症対策として、オンライン参加も可能な保護者会を企画し、実施する。
- ・イベントのお便り配布や日々の教室の様子をブログで掲載することによって、教室についての保護者様への周知を広めていく。また今一度ブログ自体の周知も行い、日頃の教室の様子や活動について理解を深めていただけるように努める。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・リモートでの保護者会を検討したが、具体的な実施方法の検討や各ご家庭のインターネット環境について確認が間に合わず、実施に至らなかった。保護者様から開催希望の声が挙がっているため、来年度からの実施に向けた具体化を進めていく。
- ・毎月のニュースレターに活動紹介を掲載して、日頃の教室の様子や活動プログラムについて保護者様に周知することができた。しかし、ブログは一定期間更新ができておらず、周知方法を検討していく必要がある。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・活動プログラムが固定化しないよう工夫することができており、保護者から高い評価をいただいている。また、活動プログラムを楽しみにしている利用者が多く、利用者ご本人から参加したいと要望が出ている。
- ・日々の保護者様とのコミュニケーションや関係機関との連携がとれており、児童の課題や発達状況についての共通認識がもてている。また、保護者様から家庭内での困りごとについてご相談をいただくこともあり、支援内容に反映していくことができています。

○改善点

- ・療育体験会や療育報告会の開催が実施に至らず、保護者様同士の定期的な交流はできていない。
- ・教室の改善個所や非常時等の対応について、保護者様への周知が低く、情報の共有が充分ではない。
- ・学校休業日の活動で、公共の施設や交通機関を利用した際のルールやマナーの習得、金銭学習など自立に向けた実践的な支援の提供が充分ではない。
- ・長期休みになると、教室内ミーティングの時間の確保が難しいため、共有事項を漏れなく確認できる仕組みを確立していく必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会の企画を立案し、保護者様同士の情報交換や相談の機会を増やしていく。
- ・全職員が共通事項を漏れなく確認できる仕組みを確立する。
- ・外部での社会交流や体験の機会を提供できるような活動を取り入れていく。
- ・教室内の活動内容や改善個所、非常時等の対応について、様々なツールや方法を用いて保護者様に情報を共有する。

○1年間で取り組む具体策

- ・年間2回の保護者会(療育体験会、療育報告会)を企画し、実施する。
- ・長期休みや学校休業日の活動時間が長い日に、課外活動や調理活動を企画・実施する。公共の施設を利用した際のルールやマナーの習得など、自立に向けた実践的な活動を取り入れる。
- ・事務室内にホワイトボードを設置し、ボードを活用して共通事項の確認漏れを防いでいく。
- ・ニュースレターやブログに活動内容や教室内の改善個所等を掲載していく。教室についての保護者様への周知を広め、日頃の教室の様子や活動について理解を深めていただけるように努める。